

★ 2018年10月6日(土) ～ピアノでオーケストラを奏でる～

ピアノデュオ TAKAHASHI | LEHMANN

10月6日(土)にベルリン在住のピアニスト、高橋礼恵さんとピョルン・レーマンさんによる「ピアノデュオ TAKAHASHI | LEHMANN」のお二人にお越しいただきました。

第一部はJ.S. バッハ作曲 M.レーガー編曲による「ブランデンブルク協奏曲 第3番」「パッサカリアとフーガ」「トッカータとフーガ」の3曲を演奏していただきました。演奏中はまるでヨーロッパの教会でパイプオルガンの演奏を聞いているかのような荘厳な雰囲気になりました。曲間には作曲家や楽曲についてレーマンさんがドイツ語で説明し、それを高橋さんが日本語に訳してくださいました。

第二部はI. ストラヴィンスキーの三大バレエ音楽のひとつである「ペトルーシュカ」とJ. ブラームスの「ハンガリー舞曲」より演奏していただきました。「ペトルーシュカ」では、お客様がこの曲をより楽しめるよう、演奏前にポイントとなる旋律を弾きながら、あらすじを説明してくださいました。J. ブラームスの「ハンガリー舞曲」からは、第1番、第3番、第19番、第5番を演奏していただき、所狭しと交錯する四手の動きと寸分違わぬ息の合った演奏に、会場全体が引き込まれていました。

四手連弾ならではの、腕の動かし方や音の合わせ方、また連弾の難しさや演奏する際の工夫などもお話いただき、作曲家や時代背景のみならず様々な観点から楽曲を堪能することができる、素晴らしい演奏会となりました。

